

次回の地域市民参加懇談会の開催について（案）

内閣府  
原子力政策担当室

1. 開催時期

平成21年1月下旬～2月中旬

2. 開催テーマ、場所

テーマ：～知りたい情報は届いていますか～「地球温暖化と原子力」

地球温暖化対策の中での原子力の位置付けや国際的な動きなどについて説明・議論することをきっかけとして、原子力に関して何が知りたいのか、また、その情報が届いているかなどについて市民の意見を伺う。

場 所：鹿児島県鹿児島市

3. 発言者

地域において環境活動を実践している方

地域の女性団体の方

地元メディア

エネルギー教育関係者

4. 開催プログラム

①第1部

- ・ テーマの背景説明（地球温暖化と原子力に係る現状について、サミット後の動きも含めて簡単に紹介。）
- ・ 各発言者によるご意見発表
- ・ 発言者と専門委員との意見交換

②第2部

- ・ 会場参加者からご意見を聴く

5. 開催時間等

土日午後開催を優先

6. 会場レイアウト

パネリストを参加者が囲う形式

## 7. 参加募集人数

150～200名程度

※ 「新潟県中越沖地震」をテーマとする市民参加懇談会については、周辺状況を見極めた上で、地元（柏崎市、刈羽村もしくは新潟市）において開催する旨決定しているが、

- 立地住民が最も知りたい情報であると考えられる東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所の耐震安全性について、原子力安全・保安院、原子力安全委員会、新潟県に、有識者による委員会がそれぞれ設けられ、現在も検討中であること
- 現地では、原子力安全・保安院や東京電力により頻繁に住民説明会が実施されていること。（12月には、原子力安全・保安院は7日、東京電力は10、11日に開催）

等から、現段階において、安全規制を所管していない原子力委員会が主催して地域市民参加懇談会を開催しても、有効な広聴活動を実施することは困難と考えられる。

次回の地域市民参加懇談会の開催について（案）

内閣府  
原子力政策担当室

1. 今後の地域市民参加懇談会のテーマ設定

「新潟県中越沖地震」のテーマ（横浜および富山にて開催）については、以前の市民参加懇談会（第28回：H19.8.27開催）にて、周辺状況を見極めた上で地元（柏崎市、刈羽村もしくは新潟市）で開催する旨決定しているが、現在、各省等が地元で積極的に行政や事業者の取り組みについての広聴・広報に取り組んでいる最中であることから、これらが一段落して、今後の政策課題を見出すことができるタイミングで、地元での地域市民参加懇談会を開催すべきと考える。

そこで、次回の市民参加懇談会については、今年重要な課題に関連させて、「地球温暖化と原子力」というテーマで、原子力政策について国民が知りたいことの把握を行うことにつなげることがよいと考える。

なお、「高レベル放射性廃棄物処分」をテーマとした広聴・広報は重要な活動であるという認識は変わらないが、現在、各省等が全国規模で広聴・広報活動に取り組んでいるので、市民参加懇談会においてこのテーマを扱うときには、これらの評価を含む政策課題を汲み取ることができるようすべきと考える。

2. 地域市民参加懇談会の平成20年度計画概要案

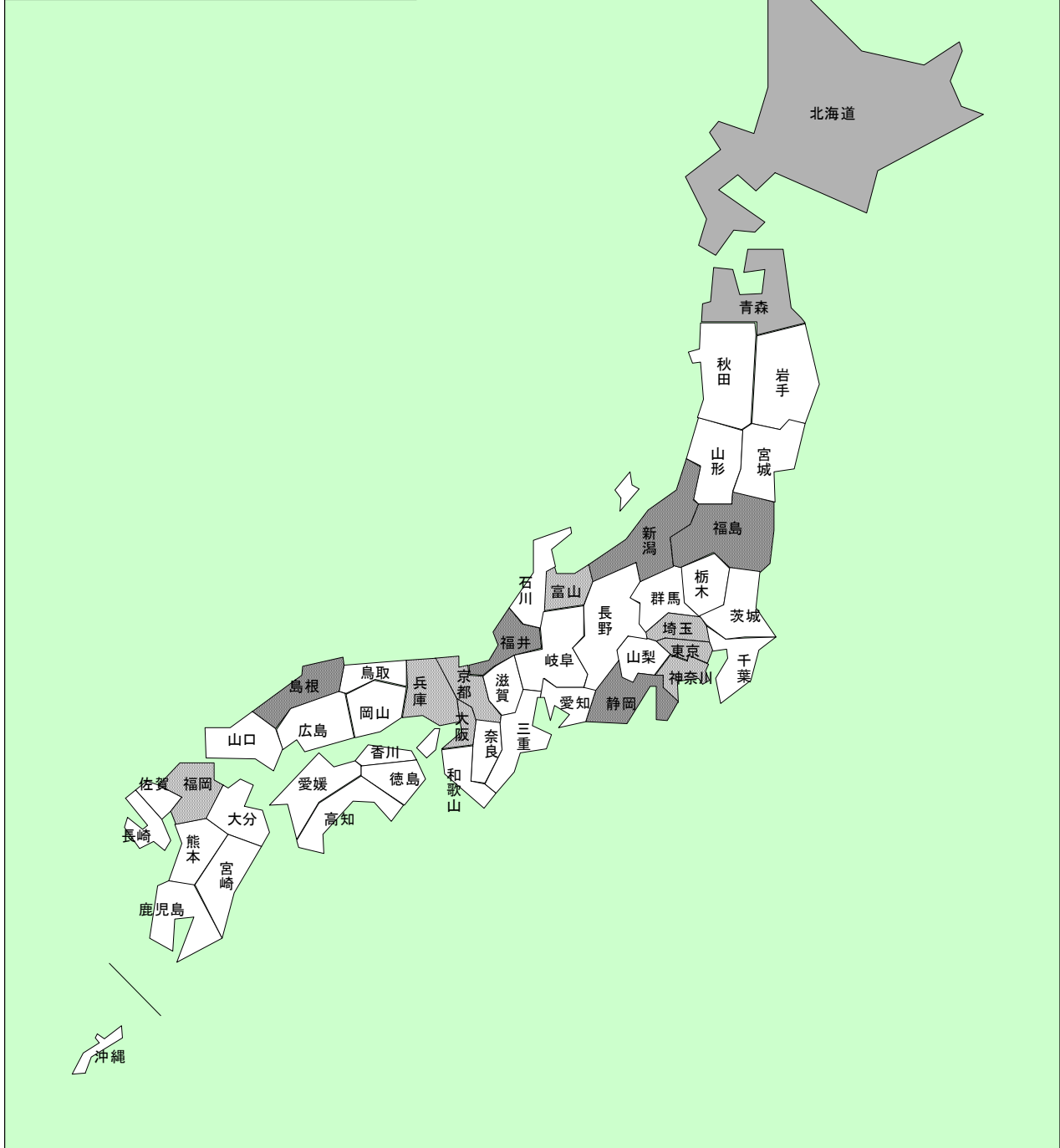
- 開催回数：3回程度
- 開催場所：立地地域と消費地での開催をバランス
- 開催テーマ（例）：

- ・ 第1回目
  - 地球温暖化と原子力（立地地域に近い都市（例えば隣接県））
- ・ 第2回目以降
  - 新潟県中越沖地震（新潟市、柏崎市、刈羽村）
  - 地球温暖化と原子力（原子力発電所立地県の都市）

6/2に  
京都で開催済

# 市民参加懇談会の開催実績

立地市町村で開催
立地県の非立地市で開催
非立地県で開催
未開催



参考:地域市民参加懇談会の開催実績

発電所の 立地地域	北海道(泊村)	※H18.9.29開催(札幌市)
	宮城県(女川町)	参考 H20.3.31(予定) ご意見を聴く会(評価):仙台市
	福島県 (双葉町、富岡町、福島市、郡山市)	H16.5.22開催(富岡町) 参考 H17.8.19 ご意見を聴く会(大綱):福島市 参考 H18.6.9 ご意見を聴く会(評価):福島市
	新潟県(刈羽村、柏崎市)	H14.1.15開催(刈羽村) 参考 H18.11.17 ご意見を聴く会(評価):新潟市
	石川県(志賀町)	
	福井県(敦賀市、福井市)	H15.6.28開催(敦賀市) 参考 H17.8.24 ご意見を聴く会(大綱):福井市
	静岡県(御前崎市)	H17.10.5開催(御前崎市)
	島根県(松江市)	H18.12.6開催(松江市)
	愛媛県(伊方町)	参考 H19.8.1 ご意見を聴く会(評価):松山市
	佐賀県(玄海町)	参考 H17.8.22 ご意見を聴く会(大綱):佐賀市
	鹿児島県(薩摩川内市)	
核燃料 サイクル等の 立地地域	青森県(六ヶ所村、東通村)	※H15.3.15開催(青森市) 参考 H16.10.20 長計についてご意見を聴く会:青森市 H17.8.18 ご意見を聴く会(大綱):青森市
	茨城県(東海村、那珂市、大洗町)	
立地地域以 外の主な消 費地	東京都	H14.7.24 参考 H14.11.19 H17.8.26 ご意見を聴く会(大綱) H16.3.27 開催 H18.8.7 ご意見を聴く会(食品) H19.3.6 公開フォーラム(食品)
	首都圏近郊 (横浜市、さいたま市、千葉市など)	H15.10.14開催(さいたま市) H19.10.29開催(横浜市)
	大阪府(大阪市)	H16.10.29開催 参考 H18.8.9 ご意見を聴く会(食品)
	兵庫県(姫路市)	H18.3.11開催
	福岡県(福岡市)	H17.9.26開催
	富山県(富山市)	H20.1.21開催
	愛知県(名古屋市)	参考 H16.11.10 長計についてご意見を聴く会
	京都府(京都市)	H20.6.2開催(京都市) 参考 H19.3.29 公開フォーラム(食品)
	広島県(広島市)	
	熊本県(熊本市)	
	香川県(高松市)	
	宮崎県(宮崎市)	
	岩手県(盛岡市)	

## 地域市民参加懇談会の開催実績（詳細）

### ①市民参加懇談会 in かりわ（平成 14 年 1 月 15 日）

「わたし達がエネルギーを大切に使うためには、どういう暮らし方がいいか。」「エネルギー供給のあり方は、どうあったらよいか。」「いま、原子力発電に求められるものは何か。」をテーマに、開催しました。刈羽村の方を中心に約 100 名の参加があり、原子力やプルサーマルについて、また、国・事業者や住民の姿勢について、多様な意見が出されました。

開催にあたっては、刈羽村の有志の方々と何度も意見交換を重ね、開催日やテーマ、発言者等について決めていきました。

### ②市民参加懇談会 in 東京（平成 14 年 7 月 24 日）

「日本のエネルギーの需要と供給はどうあったらいいか。」「原子力発電は必要か、あるいは不要か。」「原子力政策決定過程と市民とのかかわり」をテーマに開催しました。約 110 名の参加があり、各界のエネルギーについての意識、原子力に関する意見、原子力委員会や市民参加懇談会への期待など、多様な意見が出されました。

### ③市民参加懇談会 in 東京（平成 14 年 11 月 19 日）

「知りたい情報は、届いているのか」－東京電力の不正記載を契機として－をテーマに開催しました。約 180 名の参加があり、情報公開、国や企業などの姿勢について多様な意見が出されました。

### ④市民参加懇談会 in 青森（平成 15 年 3 月 15 日）

「知りたい情報は届いていますか」－核燃料サイクルを考える－をテーマに開催しました。約 200 名の参加があり、情報公開のあり方や教育の必要性など多様な意見が出されました。

### ⑤市民参加懇談会 in 敦賀（平成 15 年 6 月 28 日）

「原子力と地域社会」－原子力が地域にもたらすプラスとマイナスを考える－をテーマに開催しました。約 250 名の参加があり、今後の共生のあり方やもんじゅの今後についてなど多様な意見が出されました。

### ⑥市民参加懇談会 in さいたま（平成 15 年 10 月 14 日）

「この夏の電力危機とは何だったのか」－電力の消費地から安定供給を考える－をテーマに開催しました。約 170 名の参加があり、電力危機が起こった背景、電力危機が何をもたらしたかなどについて多様な意見が出されました。

### ⑦第 7 回市民参加懇談会～長計へのご意見を述べていただく場として～

（平成 16 年 3 月 27 日）

新たな原子力長期計画のあり方やその検討の進め方を審議、決定するための準備活動を開始したことから、「意見募集」を行い、応募していただいた方から直接ご意見を伺う場として開催しました。意見募集は 475 件の応募がありました。

約 110 名の参加があり、第 1 部「発言希望をいただいた方からご意見を聴く会」では、9 名の発言者の方からご意見を伺い、第 2 部「会場参加者、発言者からご意見を聴く会」では、挙手により会場参加者の 11 名の方からご意見を伺い、さらに伺ったご意見に関連して、第 1 部の発言者からもご意見を伺った。原子力長期計画のあり方、位置づけや原子力長期計画策定プロセスなど多様な意見が出されました。

### ⑧市民参加懇談会 in 福島・ふたば（平成 16 年 5 月 22 日）

「原子力と暮らし」～これまでとこれから～をテーマに開催しました。約 170 名の参加があり、地域振興、信頼、生産地と消費地の温度差、原子力政策、原子力行政などについて多様な意見が出されました。

⑨第9回市民参加懇談会

～核燃料サイクル政策に関してご意見を述べていただく場として～

(平成16年10月29日)

新計画策定会議において調査審議されている「核燃料サイクル政策」に関して、ご意見を伺う場として開催しました。約180名の参加があり、エネルギーセキュリティ、核不拡散、「もんじゅ」などについて多様な意見が出されるとともに、美浜発電所3号機事故に関しても意見が出されました。(大阪市内にて実施)

⑩市民参加懇談会 in 福岡 (平成17年9月26日)

「原子力と暮らし」～知りたい情報は届いていますか～をテーマに開催しました。約160名の参加があり、情報発信の在り方及び受け取り方について、原子力政策、マスメディアの役割、学校でのエネルギー教育、環境問題、プルサーマル計画などの面から多様な意見が出されました。

⑪市民参加懇談会 in 御前崎 (平成17年10月5日)

「知りたい情報は届いていますか」～これまでと、これから～をテーマに開催しました。約240名の参加があり、テーマである知りたい情報に関して、原子力発電の安全性、プルサーマルなどの多様な意見が出されました。

⑫市民参加懇談会 in 姫路 (平成18年3月11日)

「21世紀の放射線利用について」～知りたい情報は届いていますか～をテーマに開催しました。約170人の参加があり、医療分野、農業分野、工業分野における放射線利用について多様な意見が出されるとともに、広聴・広報活動、教育等に関しても意見が出されました。

⑬市民参加懇談会 in 札幌 (平成18年9月29日)

「原子力～知りたい情報は届いていますか～」をテーマに開催しました。約120人の参加があり、パネリスト間で原子力発電の安全性、環境問題等の多様な意見が出されました。

⑭市民参加懇談会 in 松江 (平成18年12月6日)

「原子力～知りたい情報は届いていますか～」をテーマに開催しました。約120人の参加があり、テーマである知りたい情報に対して、広聴・広報活動、教育、原子力防災などの多様な意見が出されました。

⑮市民参加懇談会 in 横浜 (平成19年10月29日)

「原子力～知りたい情報は届いていますか～『新潟県中越沖地震に学ぶ』」をテーマに開催しました。約120人の参加があり、地震時の原子力施設についての情報提供や報道、および普段からの教育や関係者間のコミュニケーション等に関して多様な意見が出されました。

⑯市民参加懇談会 in 富山 (平成20年1月21日)

「原子力～知りたい情報は届いていますか～『新潟県中越沖地震に学ぶ』」をテーマに開催しました。約150人の参加があり、地震時の原子力施設についての情報提供や報道、および義務教育段階でのエネルギー教育や活断層の評価等に関して多様な意見が出されました。

⑰市民参加懇談会 in 京都 (平成20年6月2日)

「原子力～知りたい情報は届いていますか～『地球温暖化と原子力』」をテーマに開催しました。約190人の参加があり、地球温暖化対策の中での原子力の位置付け、原子力を含むエネルギー教育等に関して多様な意見が出されました。